

2024 年度セメスター留学 報告書

留学先

カルガリー大学（カナダ）



① 留学を決意するまでの経緯

私は、海外出張など海外とのつながりが多い両親の影響で幼い頃から海外に興味を持っていたが、大学進学後、日本や国際関係についてさらに専門的に学びを深めることで海外に対する興味がより一層深まった。二週間の海外短期研修を終え、国際的な視野を得ることができたと実感すると同時に、様々な人々と交流する中で他国の文化や歴史について学び、多様な価値観や考え方を意識的に受け入れることの重要性を感じた。さらに、将来は国際的な環境で働くことを目標としていて、その実現のために、留学を通じて語学力はもちろん国際的な視野や異文化理解力を身に付けることが必要不可欠であると考えた。いくつかある留学先の中でも、異なる文化が共存し、多様な価値観が尊重されているカナダは私にとって理想的な場所であったため、カナダに留学することを決意した。

② 留学までに努力したこと・取り組んだこと

できるだけ高い語学力で留学できるように、空き時間に英語でのニュースを見たり、英会話アプリを利用したりなど、日常的に英語に触れる機会を増やした。英語でのコミュニケーションに慣れるために、英語を使うアルバイトを積極的にを行い、日本にきた外国人と沢山会話するよう努めた。留学先であらゆる質問に答えられるように、自分の興味関心（特に日本文化や日本の観光地など）についてさらに深く調べ英語で説明できるようにした。また、留学先での生活にすぐに適応できるように、現地の習慣や危険な場所、よく利用しそうな場所（大学・ホームステイ先・スーパーなど）についてインターネットで調べた。留学直前は、現地で生活に備えて健康管理に特に気を配り、健康診断に行き不調がないか確認し、バランスのとれた食事をとることを意識して生活した。

③ 留学中に経験したこと・感じたこと

大学で行われる授業は 15 人程度の小クラスで行われるため、ディスカッションやペアワークが多く、自分の意見を積極的に述べるよう求められることが多かった。時には「日本人学生は政治に関心すぎる」、「もっと具体的な例はないの?」といった指摘を受けることもあり、時事に対して関心を向け、軸のある意見を自分なりに持つことの重要性を感じた。また、ディスカッション中に他の学生たちが深く追求しようと会話しているのに、英会話力だけでなく自分の知識も追いつかないことで会話に入れないことがあった。そのため、空き時間に英語でニュースを見たり英語の文献を読んだりすることで時事問題に関する英単語力と知識を身につけ、特に医療やテクノロジーに関する知識を増やしたことでディスカッションにおいても自信のある発言ができるようになった。

また、コミュニケーションスタイルの違いに慣れるのが困難であった。ハイコンテキスト文化を持つ日本人は空気を読むことがコミュニケーションにおいて重要で、私も当初は会話に入るタイミングなどを気にしていたが、ローコンテキスト文化を持つカナダ人・メキシコ人など日本以外の人々は自分の主張を自分の言いたいタイミングで話すため、空気を読むことよりも自分の言いたいことを明確に伝えることに重点を置くようになった。また、彼らと関わる中で、相手の意図や考えを察することに努力するのではなく、繰り返し聞くことになっても明確に理解するように努力することが重要だと気付いた。

授業外でも他の留学生や現地の学生、近所に住む人たちなど英語で交流する機会が多くあった。カナダは多文化・多国籍国家であるため、他国に比べて差別が少なく、各々の宗教観・価値観・バックグラウンドが尊重されていると感じた。大学内で行われる Meetup イベントに積極的に参加することで、異なるバックグラウンドを持った人々と交流することができ、自分自身の異文化理解力が深まったと考える。さらに、母語が異なる友人と一日過ごし、会話に困らなかつたときに自分の英語力に対して自信がついたと考える。全ての会話において、Yes/No クエスチョンだけで終わらせるのではなく、Why や How といったオープンクエスチョンを用い、より豊かな会話ができるよう努めた。

カルガリーの公共バスは、バスに乗りたい乗客が離れた場所においてもバス停で待つなどの乗客の乗降、また交通状況や天候などの影響によって遅延することが多い。このことから、日本の公共交通機関は時間厳守が重要視されているのに対し、カルガリーの公共交通機関は臨機応変な対応が重視されており、日本よりも地域に密着した運行であると感じた。

④ 留学後の変化・今後の計画

留学を通じて、英語を用いた日常会話やディスカッションにおいて自信を持って発言できるようになった。また、異文化の土地で様々な人々と関わり合いながら生活することで、問題解決能力が高まったと考える。軸のある意見を主張できるように、普段見るニュースに対しても意識して自分なりに意見を持つようになった。今後は、留学で得た英語力を維持・向上させるために、英語を使うアルバイトを続けたり、留学生支援の活動に参加したりなど日常的に英語を使う環境を作り、継続的に学習を続けたい。また、留学での経験を活かし、異文化交流を推進する活動に参加し、最終的にグローバルな環境で即戦力となって働き、国を越えて人と人を繋ぐ橋渡し役を担える能力を養いたい。